

KANDA
TOWN



こんにちは議会です

December
10.2007
No.93

がんだ



港金刀比羅宮

9月定例会

臨時会

委員会報告

ズバリ町政を問う(6人が質問)

カメラ見て歩き



発行/刈田町議会 編集/議会広報特別委員会
〒800-0392 福岡県京都郡刈田町富久町1-19-1
TEL(093)434-1981 FAX(093)436-3014

あなたと議会をむすぶ GIKAI.MAGAZINE

臨時会（10月23日～25日）

改選後の初議会が開かれました。
正副議長、3常任委員会委員、議会運営委員会などの選任が行なわれ、議会選出の
監査委員の同意や特別委員会の設置、その他の議員選挙が行なわれました。

豊かさが実感できる 町づくりをめざして 新しい議会 構成決まる

議長

武内 幸次郎氏



副議長

井上 修氏



議長のあいさつ

このたび、伝統ある荏田町議会の議長に就任いたしました。身に余る光栄と責任の重さを実感しております。

今、私たちの住む荏田町は、産業振興、都市基盤の整備、住民福祉の増進等まだまだやるべきことがたくさんありますが、幸いにして多くの諸先輩のたゆまぬご尽力によって、陸・海・空の広域交通の結節点都市として大きく躍進を続けているところです。しかし、近年における、社会・経済・産業構造の急激な変化等により福祉・教育・環境など各分野で多くの課題や問題が山積いたしました。

このような重要な時期、議会の果たす役割も当然大きくなってまいります。また、町民に開かれた民主的な議会運営にも努めていかなければなりません。そのためには、我々議員一人ひとりが資質を高め、議会としての機能を充実させ、議会に求められている役割や期待に誠実に応え、誰もが安心して暮らせる町づくりのために、全力で取り組んでいかなければならないと考えております。

今後とも、町民の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

表紙の説明

港金刀比羅宮（港公民館横）の御社は、旧海軍築城航空隊の奉安殿でありましたが、終戦となりそのまま放置されてしました。

荏田港は筑豊炭積み出し基地として計画され、戦時中に幾多の障害を乗り越え昭和19年8月に初めて、筑豊炭の送炭を開始されました。戦後基礎産業として石炭の増産は重要な国策となり、港の整備は緊急を要するようになり、船舶運送についても若松をしのぐようになり、船舶、航海の安全及び積荷に安全確保を目的として神を祀る気運が盛り上がり、奉安殿を譲り受け当時の海員組合、運輸省に務める方々の努力奉仕により、昭和24年5月10日日豊石炭産業（株）に移転安置され昭和32年現在の地に移設されました。

昭和48年10月修復し、親神様である琴平金比羅宮より御神体を頂き、荏田港の守護身となっています。

総務常任委員会

委員 坂本 東二郎
副委員長 三原 茂
委員 井上 修
白石 弘
伊塚 弘学

所管 総務部、会計管理者、消防本部、選挙管理委員会、他の委員会の所管に属さない事項

厚生文教常任委員会

委員 小山 信美
副委員長 富安 正直
委員 松蔭 日出美
木原 洋征
尾形 均
山口 純治

所管 民生部、教育委員会

空港対策特別委員会

委員 榎谷 忠明
副委員長 山口 純治
委員 三原 茂
常山 直行
小原 信美
木原 洋征
友田 敬而
尾形 均

入札制度改善対策特別委員会

委員 富安 正直
副委員長 常廣 直行
委員 松蔭 日出美
林原 繁実
木原 洋征
友田 敬而
尾形 均
白石 学

産業建設常任委員会

委員 常廣 直行
副委員長 榎谷 忠明
委員 梶原 弘子
林 繁実
友田 敬而
沖永 義樹

所管 産業建設部、水道局、農業委員会

議会運営委員会

委員 三原 茂
副委員長 小山 信美
委員 坂本 東二郎
梶原 弘子
林 繁実
富安 正直
榎谷 忠明
尾形 均

生活排水対策特別委員会

委員 富安 正直
副委員長 白石 学
委員 松蔭 日出美
梶原 弘子
坂本 東二郎
伊塚 敬而
沖永 義樹

議会広報特別委員会

委員 井上 信修
副委員長 小山 信美
委員 三原 茂
常廣 直行
木原 洋征
榎谷 忠明
友田 敬而
山口 純治

一部事務組合議会議員

京築広域市町村圏事務組合議会議員
京築地区水道企業団議会議員

武内 幸次郎
坂本 東二郎
小山 信美
武内 幸次郎

監査委員に坂本 東二郎氏

監査委員2名のうち1人は、議会議員から選出するもので議会の同意を得て町長が任命することになっていきます。

新しい議員

会派・抱負・趣味



会派 無会派
抱負 無会派

町政が誠実公正透明性をモットーに新しい時代感覚で地方行政を町民が主役の町政を目指し、若さと情熱を持って活力ある町づくりを頑張ります。

趣味 ゴルフ



会派 安立会
抱負 安立会

苅田町に古くからある歴史、伝統文化等を中心に町民一人一人の声を大切にして、町民が住んで良かったと思える町づくりを目指してがんばって行きたい。

趣味 ゴルフ、祭り見物



会派 公明党
抱負 公明党

安心・安全で魅力ある町づくりの為、一人の人を大切に、現場第一主義をモットーにどこまでも町民の皆様の代弁者として全力で頑張ります。

趣味 バドミントン、音楽鑑賞



会派 ニューフォーラム
抱負 ニューフォーラム

先人が夢見た町づくりの大枠が大成の時期を向かえ、今後は住民のための町づくりです。より身近な議員として魅力ある苅田町を創造していきます。

趣味 近場の山歩き



会派 公明党
抱負 公明党

皆様の熱い熱いご支援により初当選させていただきました。豊かで住み良い町をめざし一人ひとりの声を大切にして、皆様の手足となって全力で働いてまいります。

趣味 読書、ドライブ、釣り



会派 無会派
抱負 無会派

「発展かんだ」をスローガンに工業を中心とした調和のとれた町造り、人に優しいをキーワードに高福祉の町、教育に充実した町を作りたい。

趣味 読書、歴史探訪



会派 安立会
抱負 安立会

苅田町が地方分権の旗手となるべく真の主権町民、真の民主議会の実現、企業経営の理念に基づく行財政改革に取り組む。諸課題では、特に緊急を要する教育問題に全身全霊を傾倒する。

趣味 読書、散策、書道



会派 清明会
抱負 清明会

初心に帰り、環境問題を中心に課題に取り組み、併せて町民の持つ豊かな潜在力が発揮できる、つまり住民力がある自由かつ達な苅田町を作るため頑張りたい。

趣味 読書、旅行



会派 無会派
抱負 無会派

役場生活32年数ヶ月の経験を生かし、即戦力として議会改革や苅田町並びに町民のための政策づくり、条例づくりなど議会の活性化、先進化に取り組んでまいります。

趣味 ゴルフ、釣り、野菜づくり



会派 清明会
抱負 清明会

苅田町はもつと発展します。そのためには一歩先を行く政治が必要です。生活に安心を！教育に力を！未来のために今やる勇気を！夢のまちづくりを目指して皆様のために邁進します。

趣味 読書、パソコン



会派 日本共産党
抱負 日本共産党

住民こそ主人公、住んで良かったといえる町づくりの為に住民意見をよく聴き、反映させるため議会内外で活動します。

趣味 山野草の観賞と料理作り



会派 未来
抱負 未来

皆様のご支援で、今回当選することが出来ました。心よりお礼を申し上げます。今後も福祉を中心に、初心を忘れず頑張っていきたいと思います。

趣味 テレビ、ラジオなど人の話を聞くこと



会派 未来
抱負 未来

地方分権が声高に言われている今、「町民のため」に初心を忘れずに「町の発展」に頑張っていきたい。また議員の責任である、「チェック機能」を果たすよう努力いたします。

趣味 読書、ゴルフ



会派 日本共産党
抱負 日本共産党

「いのちとくらしを守る」清潔な町づくりをモットーに、子育て支援や高齢者、障害者が安心して住める、教育と福祉の町を目指しがんばります。

趣味 山歩き、魚釣り



会派 日本共産党
抱負 日本共産党

今日、時代の変化に対応し、町民の信頼のもと、苅田町発展のために議会が円滑に運営できるように副議長として自己改革し努力してまいります。

趣味 スポーツ鑑賞、旅行

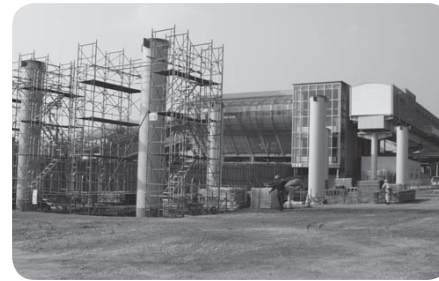


会派 未来
抱負 未来

皆様のご支援で、今回当選することが出来ました。心よりお礼を申し上げます。今後も福祉を中心に、初心を忘れず頑張っていきたいと思います。

趣味 テレビ、ラジオなど人の話を聞くこと

平成18年度決算 一般会計
歳入総額 170億4,035万円 (前年比5.2%減)
歳出総額 137億3,369万円 (前年比6.6%減)
 千円単位は切り捨て
1人当たり396,755円使いました。
 (平成19年3月末人口34,615人)



菊田駅周辺整備事業

平成 22 年 3 月完成を目指して
 ……………**3億7,390万円**
 (国庫補助金1億6,834万円)



社会福祉施設整備補助金

保育園2ヶ所の老朽化による改修補助金
 ……………**2億2,440万円**
 (国庫補助金1億4,025万円)



南原小体育館改修工事

……………**3億2,900万円**
 (国庫補助金4,885万円)



長畑松山線改良工事

……………**4億3,224万円**
 (国庫補助金2億3,515万円)

決算特別委員会報告の主な質疑

決算特別委員長 常 廣 直 行

●付託案件

平成18年度決算の認定について
 一般会計決算 1件
 特別会計決算 10件
 事業会計決算 2件
 慎重審議の結果、全議案を認定した。

Q 総合福祉会館管理運営委託料が年々70〜80万円増えているが。

A 委託料には、会館の修理費も含んでいる。

Q 公用車の集中管理委託の効果は。

A 台数は減っていないが、各課が利用しやすくなったため、公用車による出張で旅費が節減された。

Q かんだ号が使えないという声が多い。利用基準がわかりやすくできないか。

A 平成16年に見直したが、今も使いつらいとの声があるので、検討していきたい。

国民健康保険 特別会計決算

Q 町独自の施策として、一般会計から繰り入れ、減免措置はできないか。

A 税の公平性から、繰り入れは難しい。減免措置もこれ以上は考えられない。

Q 豊前海区栽培漁業振興事業負担金で、漁業者が増える中、栽培漁業を盛んにする計画はあるのか。

A 成果は上がっていないが、蒔田に合う漁業を見極めながら進める。

Q 教育費では、*不用額が多いが、なぜ運動会の記念品を廃止したのか。

A 教育改革の中で、参加賞を今年から廃止した。

下水道事業会計決算

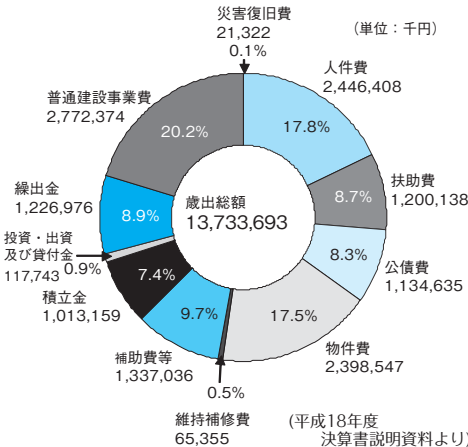
Q 極力事業を早めてほしいという住民の声が大きい。国に対して何か手段はないのか。

A 住民の声は充分理解しているし、最大の努力をしている。

平成18年度一般会計決算 性質別歳出決算額

◆用語の説明 (主なもの)

- 人件費…報酬・給与等費として支払われる一切の経費
- 扶助費…社会保障制度の一環として支出される経費で、予算科目の扶助費から支出される経費
- 公債費…地方債(借入金)の元利償還に要する経費
- 物件費…人件費・維持補修費・扶助費・補助費等以外に支出する消費的性質の経費
- 維持補修費…公共・公用施設の維持補修に要する経費
- 普通建設事業費…道路・橋りょう・公園・学校・公営住宅の建設等行政水準の向上に要する経費



付託委員会報告(第6回定例会)

9月定例会に提案された議案のうち23件(決算特別委員会付託13件を除く。)は、総務・産業建設・厚生文教の各常任委員会に付託され、慎重審議の結果22議案は可決すべきもの、1議案は継続審査とすべきものと決定した。

総務常任委員会

●一般会計補正予算(第7号)

Q 安定化対策パンフレット作成委託料は、どのような内容か。
A 町の紹介、町が行っている事業の紹介、また他市町村と比較して進んでいる事業などを掲載する。

Q 町田町生活安全条例の制定
条例の制定の考え方は。
A 町田町における安全・安心に関する理念を定めたもので、これだけで諸問題が解決するわけではないが、条例制定をきっかけに地域活動をより広げようとするものである。

継続審査

●町田町政治倫理条例の一部を改正する条例
第14条(町工事に關する遵守事項)に規定する対象者の範囲を「町長等、議員及び配偶者等」を「町長等及び議員が役員をし、若しくは実質的に経営に携っている企業又は町長等及び議員の配偶者若しくは1親等以内の親族が経営する企業」に改正しようとするもの。
町執行部と議論しながら厳しく、他自治体の模範となるものにするためには、今会期中での採決は不可能である。継続廃案となっても改選後の議会体制の中で、執行部、議会それぞれの立場から議論を重ね住民に理解が得られる改正を行なうことから継続審査することと決定した。

産業建設常任委員会

●一般会計補正予算(第7号)

Q 町田町公営ストック総合計画活用は前倒しできないか。
A 今後の計画についても前向きに取り組みたい。平成24年度以降の計画について

Q 今後の計画についても前向きに取り組みたい。平成24年度以降の計画について

で国庫支出金を受け、主に不登校児の未然防止を図るためのアンケート調査、講師による講演指導、コーディネーターの導入を行なう。

●老人保健特別会計補正予算(第2号)
Q 歳入で事務費国庫補助金233万7千円減額の理由は。
A 県の指導により一般会計から補てんすることになったもの。

●町田町立公民館の設置・管理等に関する条例の一部改正
●小波瀬コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正
Q 2議案は、使用料の一部改正である。使用料が高く、使用料の減免制度がなく減少などにより利用者が減少している。値下げの検討は。
A 使用料は管理費の10%程度をカバーする用途で定めており、近隣自治体と同レベルで妥当な水準である。利用者が減っているかは調査し対応する。

●老人保健特別会計補正予算(第2号)
Q 歳入で事務費国庫補助金233万7千円減額の理由は。
A 県の指導により一般会計から補てんすることになったもの。

●町田町立公民館の設置・管理等に関する条例の一部改正
●小波瀬コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正
Q 2議案は、使用料の一部改正である。使用料が高く、使用料の減免制度がなく減少などにより利用者が減少している。値下げの検討は。
A 使用料は管理費の10%程度をカバーする用途で定めており、近隣自治体と同レベルで妥当な水準である。利用者が減っているかは調査し対応する。

●一般会計補正予算(第7号)
Q 現在5カ所ある放課後児童クラブの利用実態は。
A 町田校区で定員の1.25倍以内で規制内、与原校区は定員40人に対して61人と規制をオーバーしているが、今回のみどり幼稚園児童クラブ設置により、問題は解消される。
Q 問題をかかえる子の自立支援事業は。
A 今年から2年間の予定

厚生文教常任委員会

●一般会計補正予算(第7号)

Q 現在5カ所ある放課後児童クラブの利用実態は。
A 町田校区で定員の1.25倍以内で規制内、与原校区は定員40人に対して61人と規制をオーバーしているが、今回のみどり幼稚園児童クラブ設置により、問題は解消される。
Q 問題をかかえる子の自立支援事業は。
A 今年から2年間の予定

付託委員会報告(第7回臨時議会)

10月臨時議会に提案された議案のうち5件(監査委員の専任同意を除く)は、総務・産業建設・厚生文教の各常任委員会に付託され、慎重審議の結果可決すべきものと決定した。

総務常任委員会

●一般会計補正予算(第8号)

●工事請負契約の締結(町田町庁舎改修工事)
以上の2議案の委員会採決は可決。

●18社中町田町の住民の雇用は何社で、何人か。
A トヨタ九州を除いた、17社で、全従業員が450名、町民150名である。委員会採決は、可決。

産業建設常任委員会

●専決処分(町田町河田臨空産業団地開発事業特別会計補正予算(第4号))

Q 団地の分譲が予想以上に好調だった要因は。
A 前町長の空港開港を見据えた英断があった。

Q 今後の工場用地の確保の方向性は。
A 自動車生産150万台構想の追い風が今後も続くこととみているので、白石工業団地の売れ行き等、

厚生文教常任委員会

●一般会計補正予算(第8号)

Q スクールカウンセラーとソーシャルワーカーとの違いは。
A スクールカウンセラーは問題をかかえる個人に対して行いソーシャルワーカーは学校全体や家庭により高度な指導を行なう。

●一般会計補正予算(第8号)
Q スクールカウンセラーとソーシャルワーカーとの違いは。
A スクールカウンセラーは問題をかかえる個人に対して行いソーシャルワーカーは学校全体や家庭により高度な指導を行なう。

ご迷惑をおかけします



意見書3件(可決された意見書2件は、それぞれ関係機関に送付した。)

- ・「地域安全・安心づくり推進法」の早期制定を求める意見書 …… 可決
- ・いじめ、不登校対策のための施策を求める意見書 …… 可決
- ・後期高齢者の命と健康を守るため後期高齢者医療制度の充実を求める意見書 …… 否決

人事案件1件

- ・人権擁護委員の候補者に大重吉子氏を推薦することに同意した。

付託委員会報告(第5回臨時議会)

7月臨時議会に提案された議案6件は、総務・産業建設・厚生文教の各常任委員会に付託され、慎重審議の結果5議案は可決すべきもの、1議案は否決すべきものと決定した。

総務常任委員会

●一般会計補正予算(第4号)

Q 「町田町中心市街地商店街にぎわい創出支援事業補助金」について、基本計画がなされたものでなく、方向性を示してから予算化されるべきでは。
A 県の補助事業であり、事業運営については、今後、反省点も踏まえ検討していきたい。

委員会採決は、否決。

産業建設常任委員会

●平成19年度町田町河田臨空産業団地開発事業特別会計補正予算(第3号)

●工事請負契約の締結(河田臨空産業団地造成(1工区)工事)

厚生文教常任委員会

●一般会計補正予算(第5号)

Q 町田町内各学校温暖化対策調査業務委託費について、今後のスケジュールは。
A 7月・9月に実態調査、10月から3月に結果の取りまとめと概算費用の提出を行う。

委員会採決は可決。

ズバリ

一般質問は、6人が質問 町政を問う!!

木原 洋征 議員

11

1. 国保税について
2. 教育環境の整備
3. 「誰もが安心して心豊かに暮らせる町」について
4. 不正・腐敗のない清潔な町づくりについて

川上公美子 議員

12

1. 子育て支援と少子化対策
2. 高齢者施策の充実を
3. 公害対策

武内幸次郎 議員

13

1. 今期4年間の提言及び指摘してきたことの、その後の状況について
2. 地域公民館の活用について

小山 信美 議員

14

1. 住みよい環境づくり
2. 次世代育成支援計画について
3. 町民サービスのあり方

梶原 弘子 議員

15

1. 未来をにう子ども達の命とくらしは保障されているか
2. 町営住宅問題
3. 同和対策について
4. 障害者自立支援

松蔭日出美 議員

1. 未登記の進捗
2. かんだ号の使い方
3. 人口増
4. 武士道とは

(松蔭日出美議員の一般質問については、原稿提出を辞退する申し出があり、質疑応答の内容は割愛し、質疑項目のみ掲載しました。)

議会を傍聴しませんか



次の定例会は12月です。
一般質問は12月12日・13日・14日(3日間)の予定。
開催時間/10時~17時(予定)受付は庁舎6階まで。

9月議会は102人の傍聴者がありました 問い合わせは議会事務局まで ☎093-434-1981

Q 国保税の引き下げと

A 今のところ考えていない

Q 負担が多くて払えない世帯には、①一般会計からの繰り入れ増額、②菟田町独自の減免が、必要。

A 国保加入者の負担になり、特別の減免は考えてない。

Q 滞納世帯への制裁処置である保険証の取り上げが原因で病院にかかれず、手遅れから死亡した人たちが全国で報道されている。非人道的であり中止を。

A 面談機会を設けるためであり、中止は考えてない。



国保税引き下げ署名活動中

普通教室に空調設備を

Q 学校で障害のある子どもたちへの配慮がされているのか。空調設備を含め、早急な検討を。

A 今回の調査を受け、必要があれば今後検討したい。

Q いじめ、不登校などの実態把握が出来ているのか、相談体制の充実と専門家の育成が必要では。

A 平成19年3月現在の30日以上の不登校児童生徒数は菟田町全体で50名に上っており、年々増加傾向にある。文科省の問題を抱える子ども等の自立支援事業を受け、実態調査を行い、問題の把握、分析を行いたい。

Q 平成19年3月現在の30日以上の不登校児童生徒数は菟田町全体で50名に上っており、年々増加傾向にある。文科省の問題を抱える子ども等の自立支援事業を受け、実態調査を行い、問題の把握、分析を行いたい。



吹田市児童館視察お話し会

コミュニティバスをスクールバスとして運用を

Q 白石地区でも不審者が出しており、保護者からスク

A 校長会において検討している。障害者、病気がをした子ども、部活をする子が対象と思われる。

清潔な町づくりに町長の決断を

Q 公正で透明な入札制度の導入を。

A 予定価格及び最低制限価格の事前公表など、数々の改善を行っている。

Q 昨年度の工事金額1千万円以上の落札率は、90%台が全体の71%あり、マスコミは90%台は談合と決め付けて報道されており、談合ではないことを証明できるのか。

A 捜査権がなく、出来る限りの対策をとり執行している。



木原 洋征 議員



川上 公美子 議員

Q 中学卒業までの医療費無料化を

A 他の動向をみながら検討

Q 内閣府の少子化対策に関する子育て女性の意識調査によると69・9%が少子化対策に経済的な支援を重要としている。荻田町は、現在小学校入学前までの医療費は無料だが実績はどうなっているか。

A 17年度決算で4,802万円、18年度は6,932万円である。

Q 機械的な計算によると、小学校卒業まで、1億4000万円。中学校卒業まで、1億7500万円となる。予算のシミュレーションはしているのか。

A 今後一歳上げたら予算がどうなるのか検討してみたい。

Q 福岡県で一番裕福な自治体として政策をどう位置づけるのか、そして施策を

広げることが重要ではないか。

A 制度が継続できるのか慎重に審議しながら考えていく。

早急に児童館の設置を

Q 現在1〜3年までしか放課後児童クラブが利用できない状況。子どもの安全を守るため、児童館の設置が町民から望まれている。子どもの居場所検討委員会での進捗状況は。

A 馬場校区と与原校区の放課後児童クラブを緊急で検討している。児童だけのための施設でよいのか議論しなくてはならない。子ども、家庭、女性などソフト分野の支援機能をどうい

形で盛り込むのかを施設の視察研究等も含めて対応していきたい。

Q 居場所検討委員会は、役場の幹部の何人かで検討しているのか。

A 役場外の意見もいろんな形で伺う手立ては考えている。

Q 当面空き店舗とかの利用はどうか。

A 児童館まではいかないが完成するまで空き店舗、公共施設などを利用していく。



築上町児童館

介護保険の改悪から町民を守れ

Q 介護される人の状態はよくなっていないのに要介護から要支援に認定され困っている人がいる。町としての対応は。

A 在宅高齢者福祉サービスの中で受け入れるための事業を進めている。

Q 室内の粉じんについての相談は。

A 連絡があれば環境保全課と保健所で向う。

Q 水源対策を積極的に

A 安定供給に向け努力する

Q 水源対策のその後の進捗は。

A 山口ダムの譲渡、北九州市からの取水、葉山池の貯水の3点。水の安定供給にはどの方法が、効果的で安価であるか、また実現しやすいのかを現在検討している。難しい問題でもあり結論に至っていない。



殿川ダム (11月撮影)



山口ダム (11月撮影)



武内 幸次郎 議員

滞納対策は…

Q 一般、特別会計を合せ約14億6000万円の滞納額になる。定率減税の廃止や国保等が上がり町民は重税感を抱いている。さらに滞納が増えるのではないのか。税限移譲が図られても滞納が減少しなければ意味がない。徴収する側も徴収率の向上を行うべきだ。その一つとして国民健康保険は8期、固定資産、町民税は4期になっているが条例改正を図り毎月均等に徴収してはどうか。

A 法律上できるのか検討する。

Q 生活排水処理を公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽で行っているがいずれの処理方法であっても公平でなければならぬ。

A 事業形態が違い難しい面もある。公平性へ向け努力したい。

Q 人口減少社会、高齢化等を念頭に置いて事業推進を図るべきだと提言する。

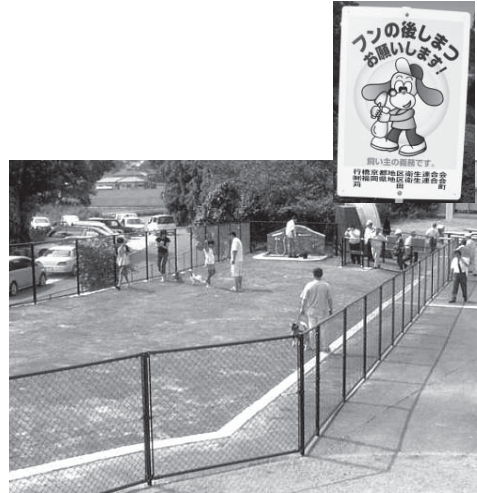


小山 信美 議員

Q 「飼い犬、猫のふん害等の防止条例」の効果は A 町全体としては減少傾向

Q 指導員は47区中11人だが、どこまでの範囲をみるのか。
A どこまでとは決めていない。
Q 指導員座談会での問題は。

A 注意を聞き入れてもらえない。逆に開き直る。顔を見て避けられた。指導員を増やしてほしい。田んぼのあぜにふんをされ農家の人は困っている。看板の字が小さい。



九州自動車道古賀SA(下り)ドッグラン

Q ドッグランについて。
A ペットは人の生きがいにもなっている。検討してみる価値はあると思う。

Q 指導員不足の問題点と今後の方向性について。
A 現在11人の指導員だが、飼い主のマナーアップに最も大きな効果をあげると考えられる為、今後も機会を見て募集していく。又、新たな取り組みは、子どもへの啓発も大切であり福岡県京築保健環境事務所が動物愛護教室の開催を計画中。実施に向け町も協力していく。

Q 乳幼児医療費の完全無料化については。
A 少子化対策として、他市町村の動向等を見ながら検討する。

Q 小学校入学前までの無料を小学校3年生までに拡充することについては。
A 就学前の完全無料化やその年代に引き上げ等も含めて、できるか検討している。

Q 若者や低所得者、高齢者、障害者が安心して住める公営住宅の建設を希望する、修繕したり、住宅を借り、荷物置き場になっている所など改善すれば、入居戸数が増えるのではないかと。
A 今、町営住宅は682戸ある、全般的に老朽化が進み、維持管理に大きな経費がかかる。荷物だけ置いて不在借主の戸数は20戸。

Q 同和行政について8項目申し入れをしている。6月議会でも質問した1市2町の責任もある「文化会館」の処遇は協議すると答弁をもらったがその後どうなったのか。又、同和終結宣言の計画はしないのか。
A 管理上大きな問題がある。同和行政について8項目申し入れをしている。6月議会でも質問した1市2町の責任もある「文化会館」の処遇は協議すると答弁をもらったがその後どうなったのか。又、同和終結宣言の計画はしないのか。

Q フロアマネージャーの試行後の取り組みについては。
A 設置やサービスの必要性を検討するプロジェクトチームを作り、現在最終調整を行っている。

Q 最終調整の目的については。
A 予算や人をどうするかという問題があり、年度途中からする事は難しい。

Q 来年度から実施出来るのか。
A 実施に向けてやっていく方向づけは出来ているので、当然やっていく。

Q フロアの整備については。
A 車椅子で入れなかった東側玄関のバリアフリー化を図る。2階の町民ホールに授乳室や相談室を設置する予定だ。

Q 未来を担う子ども達の命と暮らしは 就学援助で、保障されているのか A 国の規定に準じて保障していく

学援助制度の改善充実を望む。

A 子どもの遊び場所として、野球、ソフトボールが出来る公園は、大熊、向山

Q 町内の各小学校の生徒数は3千人を超える。各幼稚園、保育園の子どもを合せると多くの人数になる。この子ども達が地域で安心して遊べるのか。今年から文科省が放課後や土曜日に学校施設を活用して子ども教室推進事業を始めているが町としての対応はどうか。又ADHD児童の実態調査や対策はどう進めるのか。子育て支援の為に就



梶原 弘子 議員



新開公園のバスケットゴール

各公園、地域公園ではプラステックのバットやボール使用で遊んでほしい。ADHD児童実態調査はしていないが人数は把握している。

放課後子ども教室推進事業は、県では新アンビシヤス事業という形で行う。来年度に特別支援のコーディネーターを1名ずつ要請している。就学援助制度は国の税源移譲で修学旅行費分しかきていない、町単費は大幅に増やしている

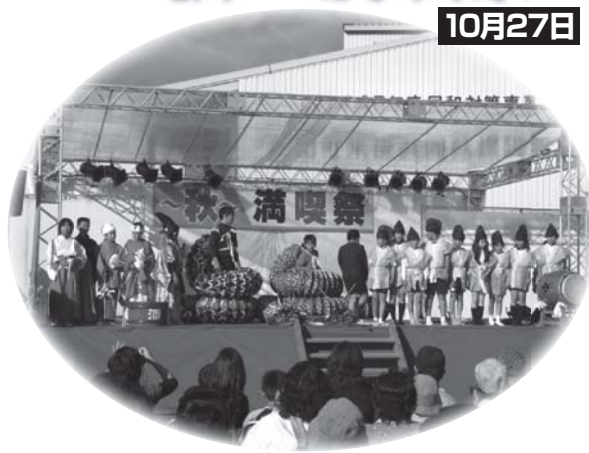
※ADHD 注意欠陥/多動性障害(ADHD)とは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、衝動性、多動性の特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。



町営城南団地

～秋～満喫祭

10月27日



カメラ見て歩き

荻田町子ども祭り

10月21日



荻田町民文化祭

11月3～4日



2007第3回 エコデンレース in 荻田 10月28日



西 南 東 北 No.31

がんばれ地域のサポーター
(第17回)

みんなで楽しく
子育てをしよう！

子育てサロン「びよほっぼ」

代表者 角 崎 明 美



子育てサロン「びよほっぼ」は、平成19年2月に誕生しました。
きっかけは、昨年苅田町社会福祉協議会主催の子育てサポーター養成講座に参加したメンバーの中で、子連れで「気軽に訪れる事ができる場」「ホッとでき

る場」「多世代交流ができる場」が欲しいという事になったからでした。

現在、毎月第1火曜日10時～14時は京町味処「源さん」3階、第3水曜日は尾倉福祉会館10時～14時で活動しています。

スタッフは、子育て世代8名、子育てを卒業した世代6名の計14名です。

時間内であれば、いつ来てもいい帰っても構いません。予約もいりません。参加費は保険代込みで1家族150円。

広いスペースにおもちゃをご用意しています。子どもが遊ぶのを見守りながら、お母さん同士や、スタッフと交流し、おしゃべりができる場所をつくって



います。お昼は、ご持参いただき、みんなで食べます。おやつは基本的に持ち込みができません。

いつも行事があるわけではありませんが、今年度は、絵本の読み聞かせをしたり、パネルシアターを見たり、芋畑をお借りし、つるを差し、芋掘りしたり、運動会をしたりしました。

今後は、ベビーカーを押して参加できる身近な場所として、開催場所をふやしていきたいと考えています。子育てしやすい町づくりに少しでもお役に立てれば

幸いです。
より多くの方のご参加をお待ちしております。

子連れでなくても、子ども好きの方は、世代に関係なく、お気軽に遊びに来て下さいね。

最後になりましたが、サロンのオープン当初より、社会福祉協議会にはご支援いただいております事、感謝いたします。

子育てサロン「びよほっぼ」
*連絡先
090 (7-588) 1-0203



あ と が き

早いもので今年もあと20日余り、9月30日に町議会選挙が行なわれ10月に新しい議会構成が発足しました。

今日、地方自治の役割、地方の自立が問われるなか編集委員メンバーにも新委員が加わり決意も新たに輝かしい歴史と伝統ある議会広報紙をさらに内容を充実させ、編集委員一同、最善の努力をしております。今後ともご協力、ご指導をお願い申し上げます。

2008年は町民の皆様にとっても素晴らしい一年でありますようお祈り申し上げます。

井 上 修

議 会 広 報 特 別 委 員 会

- | | |
|---------|---------|
| 委員長 | 井 上 修 |
| 副委員長 | 小 山 信 美 |
| 委員 | 三 原 直 茂 |
| 常 務 員 | 木 原 洋 行 |
| 榊 谷 忠 明 | 友 田 敬 治 |
| 山 口 純 治 | |